



交通安全かわら版

平成31年2月号

神戸西警察署

神戸西警察署管内の交通事故発生状況(平成30年中)

年	区分	人身事故	死者	傷者		物件事故
				重傷		
平成30年		1,170	3	1,392	83	6,281
平成29年		1,332	6	1,613	108	6,188
増減数		-162	-3	-221	-25	93
増減率%		-12.2%	-50.0%	-13.7%	-23.1%	1.5%

- 交通事故の死者数、人身事故件数ともに減少しています。
- 交通事故死者の全てが高齢者(65歳以上)となっています。
- 人身交通事故の発生時間別では、午前8時、午後5時、午前7時、午後6時の順で発生しています。
- 人身事故の類型別では、車両相互(追突)403件で全事故の34.4%、車両相互

冬季における交通事故防止

スリップ事故に要注意!!

冬になると、厳しい冷え込みや降雪によって、路面が雪や氷で覆われるほか、降雪や霧などにより視界が極端に悪化するなど、夏場には見られない、いわゆる「雪道」が出現し、スリップなどによる「冬型事故」が発生します。

知っておきたい! 雪道走行時にすべきこと

- 雪道や凍り付いた道は大変滑りやすく危険です。タイヤにタイヤチェーンなどの滑り止め装置を着けるか、スノータイヤ、スタッドレスタイヤなどの雪路用タイヤを着けましょう。ただし、標識によってタイヤチェーンを着けていない車の通行禁止されている道路では、タイヤにタイヤチェーンを着けないで通行してはいけません。
- 速度を十分落とし、車間距離を十分とって運転しましょう。横滑りを起こすことが多いので、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしましょう。急発進、急ブレーキ、急ハンドルは絶対にやめましょう。
- できるだけ車の通った跡を選んで走るようにしましょう。
- スパイクタイヤは、雪道や凍り付いた道以外の道では、路面の損傷や粉じんの発生の原因となるので、使用しないようにしましょう。



【タイヤチェーンを取り付けていない車両通行止め】



兵庫県神戸西警察署